

# 第5回

学生と教職員の交流の場

学内と社会を結ぶ交流の場

# 琉大21世紀フォーラム



日時

平成19年11月9日(金)  
17:15～18:15

場所

琉球大学法文学部新棟215教室  
※先着250人

## 話題「ゲーリー・スナイダーと日本」

発表者：山里 勝己 琉球大学法文学部教授

ゲーリー・スナイダー (Gary snyder、1930年～) は、20世紀のアメリカを代表する詩人です。スナイダーの作品は、人間と自然との関係をテーマにしたものが多く、代表作の詩集『亀の島』ではピューリッツァー賞を、『終わりなき山河』ではボリンゲン賞を受賞しています。1956年から1968年までは京都に滞在し、臨済禅を学んでいます。この時期には宮沢賢治の詩の翻訳も試み、「春と修羅」などの一連の作品の英訳が『奥地』(The Back Country) に所収されています。アメリカに帰国後は、地域に根ざした環境保護運動、カリフォルニア大学デーヴィス校の教授など多彩な活動を展開しました。

発表では、ゲーリー・スナイダーを例にアメリカ詩人と日本の関わりや、アメリカ現代詩の発展や詩人の成長についてお話しします。また、アメリカ人の自然観や環境思想などにも触れます。

### 発表者プロフィール



山里勝己  
琉球大学教授

### 略歴

- ・カリフォルニア大学(デーヴィス校) 博士課程修了(PH.D.)
- ・九州アメリカ文学会会長
- ・アメリカ研究センター長

### 著書

- ・『場所を生きるーゲーリー・スナイダーの世界』
- ・Literature of Nature: An International Sourcebook (共編著)
- ・『戦後沖縄とアメリカー異文化接触の50年』(共編) 他